●平成31年度一般会計歳入歳出予算～防災費～

Q 臨時災害FM放送局アンテナ設置手数料が計上されているが、どこへ設置するのか。災害時においてどのように対応するのか。

A 現在保有している臨時FM放送機材に係るアンテナを新しい袋井市防災センターに設置するものである。災害時に東海総合通信局に申請して、FMラジオ放送の周波数を取得し、災害情報を市民に周知するもので、現在、申請手続きについて、簡略化できるように協議中である。

●袋井市公共施設等適正管理基金条例の制定について

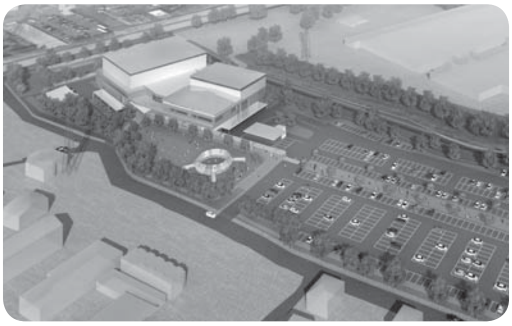
Q 基金の上限や目標を設定する構想はあるのか。

A 現状、個別施設計画がすべて完成していないため、明確な目標はないが、基金のスケール感としては、一般会計における公共施設の減価償却の累計額は、概ね300億円であり、これを取得したときの状態に戻そうとした場合、同じ額がかかるということになる。この財源として、概ね9割は地方債が充てられると仮定すれば、残りの1割である30億円程度は備えておく必要があるのではないかと考えている。

●袋井市運動施設条例等の一部改正について

Q 新総合体育館の料金設定について、今までの体育館は他市と比べて安く評判が良かったことから、使い勝手や機能面で他施設との違いがなければ利用者から納得を得られないのではないか。

A 周辺他市の施設と比べて突出して高いわけではないと考えており、気持ちよく利用していただけるようにサービス面で対応していきたい。



袋井市総合体育館のイメージ図

●平成31年度袋井市公共下水道事業特別会計予算

Q 地域内で処理している可睡の杜地区の下水道管の接続の現状は。

A 可睡の杜地区などを追加する事業計画の変更を平成30年9月に行うとともに、接続に向けた準備として袋井第7汚水幹線実施設計委託業務などを行っている。引き続き、地元の方々と協議をし、2022年から2023年頃に接続していきたい。

●平成31年度袋井市水道事業会計予算

Q 給水車を導入する経緯と必要性は。

A 現在、応急給水する場合は、給水体制が整うまで時間がかかっている。今回、加圧ポンプや給水栓が装備された給水車を購入することにより、給水体制が整う時間が短縮され、受水槽などの高い場所や離れた場所への給水も可能となり、災害時の相互支援もできるものと考えている。